

県会議員 奥村のり子の 読者ニュース

2016年5月22日 第220号
 奥村のり子生活相談所
 〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11
 ☎ & FAX 073-427-7121
 Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp



スリーウエーブパレード参加 産廃説明会では怒りが噴出

先週の14日、安心・安全の医療、看護、介護の実現を求めて恒例のスリーウエーブパレードが行われました。県下の医療労働組合が集まり県民に「医師・看護師・介護職員を増やせ」「国は充実した社会保障政策を行えー」などアピールしました。私も最後列に加わり真っ青な空にみなさんといっしょに声を響かせました。夜には滝畑に産廃処分場をつくるうとしてる業者から住民への事業計画説明会がありました。業者は、16万以上の市民の反対署名があり



ながら建設しようとしています。住民からは「市議会・市長・知事も認められないと言っているのになぜつくるうとするのか」「活断層もあり地震の心配がないという根拠は何か」など多くの疑問や質問が噴出しました。社長の説明に加え、補足説明がされましたが手元には資料もなく全く不誠実な姿勢に私も大変腹が立ちました。会社側が一方的に説明会終了を告げても多くは住民のみなさんは席を立たず抗議を続けていました。事業計画の内容や会社の姿勢などもっと多くのみなさんに知らせて行きたいと思えます。参議院選挙区候補のゆら登信さんの政策にはアベ政治を本気で止める！憲法改悪を許さない。人間らしく働ける雇用のルール確立や社会保障の拡充、産業廃棄物最終処分場の許可要件の改正などがかけています。日本共産党の躍進とともにゆら候補必勝のためみんな楽しく住民が主人公の政治に変えて行きましょう。

上の写真はナースウエーブの集会で挨拶する奥村です。
 (奥村のり子)

参院選 世論は私たちの側 広く支持を広げましょう

参議院選挙の投票日は正式に決まっていますが、6月22日公示、7月10日ではほぼ決まりと言われます。日本の未来にとって歴史の本流か、逆流かをめぐるかつかない注目の選挙です。憲法問題が最大の争点ですが原発、アベノミクス、消費税増税、TPP、熊本地震対応などこの問題をとってもアベ政治の暴走政治との対決です。乱暴に憲法9条を破壊し、「任期中の改憲」を公言するアベ首相ですが、世論はNHK5月2日発表で「憲法改正」が「必要ない」は3年前の16%から今年31%に増え、「必要ある」は3年前の42%から27%に減少し、「どちらともいえない」が3年前39%、今年38%でした。「報道ステーション」4月調査で「アベノミクスはうまく進んでいると思う」はわずかに15%で「思わない」が64%。鹿児島の中内原発は「止める」が55%。来年の消費税増税は「延期」が65%、TPPは「評価しない」が46%で「評価する」の34%を上回るなど世論はわたし達と同じです。

みなさん、和歌山選挙区から候補のリーフレットは先日小林節さん講演会で配布されましたが実にすばらしい内容です。今「支持政党なし」が一番多い階層です。そんな人々にも坂口候補とゆら候補リーフレットを渡し、「比例は共産党、選挙区はゆらさん」と支持を一気にひろげようではありませんか。(編集室)

のり子の週刊日誌—主なもの—

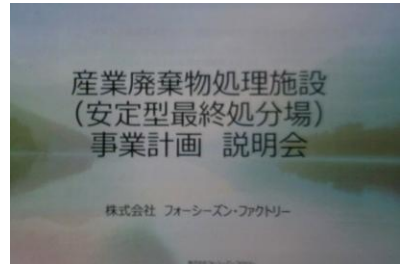
- 5月20日 市駅前/吉宗像前宣伝、会議、医療審議会傍聴、団体訪問
- 21日 地域行動
- 22日 「日本と原発4年後」映画鑑賞、女性援会宣伝、地域宣伝、河北後援会集会
- 23日 政府要望
- 24日 会議、伏虎小中一貫校説明会
- 25日 宣伝力、地域訪問
- 26日 国会議、地域訪問、非核の会定期総会

産廃処分場問題

滝畑・山口地区に安定型産業廃棄物最終処分場建設を計画しているフォーシーズン・ファクトリー(以下F社と略す)が5月14日(土)夜7時から北コミュニティセンターで紛争予防条例に基づく事業計画の説明会を開催しました。パンフレットに基づき社長の西村和能氏の説明と、近畿測量の中島氏から、「地元からの『和歌山市山口地区に計画されている安定型産業廃棄物最終処分場問題調査報告書』に疑問な点が集約されていると思うので前もってお答えする」として説明が(資料なし)8時半頃まで続きました。住民の皆さんは、「水に関する聞き取り一度も来ていない。住民同意とるつもりあるのか」「F社のHPには根

納得できない説明会 さらに業者不信が増幅

来断層は停滞期とある。こんな認識の会社がちゃんと対応できるのか!「近畿測量の中島さんは湧水は、一か所、後は涸れていると言いますが、たった一回しか山に登っていない。私は30回、40回登って見ている!」など多くの質問や批判が続きました。F社は「回答の時間が無くなった」と殆ど回答せず、「後は意見書を提出して欲しい」と、説明会を終了させる発言に怒りの声が集団!頑として回答しない態度に「再度説明会を開くべき」と殆どの方が会場に残り強く迫りました。この説明会が住民にとって納得できない内容となった事を西村社長も認めざるを得ませんでした。業者は誠実に住民の疑問に答えるよう再度説明会を開くべきです。



業者が出した説明パンフ

党市議会議員 南畑さち代



レポート Relay talk